

# 平成 30 年度事業計画および収支予算

## 1. 事業運営方針

- (1) 消費者や電気に関わるサブユーザーなどへ、家庭の電気や最新の家電機器について情報提供するとともに、それらを活用したスマートな暮らしを提案する。
  - 訴求ポイントは、ヒートポンプ機器を始めとするオール電化機器および家電機器の省エネ性、経済性、利便性などの特長や、他熱源機器と比べた優位性を基本とし、会員であるメーカーや電力会社、さらには関係団体等の協力を得ながら推進する。
  - 収益事業については、当会の事業運営を継続するために必要不可欠であるため、会員の意見等を反映しながら、事業推進に役立つことを基本に推進する。
- (2) 事業継続を図るための事業運営基盤の強化を図る。
  - 事業収支を安定させるため、当会発行誌の編集内容を充実させ売り上げ増を目指すとともに、制作費や管理費等のコストダウンを継続して推進する。
  - 公益目的支出計画対象事業については、一般社団法人としての要件であり、認可された計画内容に基づき的確に推進する。

## 2. 実施事項

- (1) 収益事業「定期刊行物 月刊誌 ALLE Smart Life」の継続発行
  - 平成 29 年度のコネプト、編集方針を踏襲しつつも、内容や切り口等を見直す。具体的には平成 30 年度 ALLE Smart Life 発行計画案をもとに、編集委員会で審議した内容とする。
  - 通常月は 20 頁を基本とし、単価は 360 円/部(消費税等別)で毎月 1 日発行とする。
  - 電力各社へのアンケート調査結果を踏まえ、年間の累計販売部数の目標を 109 千部、累計発行部数の目標を 115 千部とする。
  - 広告出稿数を極力維持できるよう、特集等の内容を踏まえた営業活動を実施する。
  - WEB 版については、継続して有償提供する。
- (2) 収益事業「刊行物 でんき DE ハウジング」の継続発行
  - でんき DE ハウジングについても、一定のニーズがあり、月刊誌とともに重要な収益源であることから、平成 30 年度も継続して発行する。発行部数の目標を 19,500 部とする。
  - 発行に当たっては、編集委員会での審議等を踏まえ、必要に応じて編集方針、内容等を見直し、発行する。
  - 広告掲載については、掲載社増に向けて営業活動を実施する。
- (3) 事業推進に伴う留意事項
  - 会員(電力各社)の状況は、電力・ガス自由化等に伴う厳しい経営環境のもと、営業部門の再編や営業方針の見直し等を図りながら、より実効ある取り組み・活動が行われている。これらを十分に認識し、当会発行誌については、電力各社が効果的に活用できる内容を検討し、企画・編集を行う。
  - 会員(家電メーカー各社)の状況は、AIやIoTなどを活用した第4次産業革命の進展により、従来の業界・業種等の枠組みを超え、グローバルな競争が激しさを増している。このような中、広告を掲載いただいているメーカー各社に対しては、事業活動や運営基盤強化への取り組みをよく説明し、平成 30 年度もできる限り現状レベルの広告掲載をお願いする。
  - 公益目的支出については、中・長期的な実施内容を検討しながら事業を推進する。
  - 事務局体制は、発行誌の企画・編集や継続的な事業運営に支障をきたさない要員等について、引き続き検討する。

(4) 公益目的支出計画対象事業の推進

公益目的支出計画対象事業(電気のはなし WEB 版)を、内閣府の認可通り実施する。

平成 29 年度は小学生向け「電気のはなし」の教師用の追加資料掲載と一部データ更新を実施。平成 30 年度は中学生向け「資源・エネルギー」のデータ更新などを実施する。

これまでの当財産の支出額及び残額は下表のとおり。

単位:百万円

時 期 \ 項 目	実績想定		計 画		備 考
	支出額	残 額	支出額	残 額	
一般法人移行時	-	56.5	-	56.5	公益目的支出計画対象財産
平成 26～29 年度	20.3	36.2	19.9	36.6	
平成 30 年度	-	-	4.9	31.7	30 年度以降 8 年間で完了予定
～	-	-	-	-	
平成 37 年度	2.0	0	2.4	0	

(6) その他の事業

活動状況や会議の開催状況などを掲載したニュースレターを発行し会員へ配付する。

(7) 運営等に関する会議を次の通り開催する。

月	運営のための会議	発行誌の編集委員会	
		ALLE Smart Life	でんき DE ハウジング
4	・経理及び事業監査	・第 1 回編集委員会	
5	・第 1 回運営委員会 (書面) ・第 70 回定時社員総会		・第 1 回編集委員会(書面)
6		・第 2 回編集委員会	・第 2 回編集委員会
7			
8		・第 3 回編集委員会	
9			
10		・第 4 回編集委員会	・第 3 回編集委員会(書面)
11	・運営小委員会		
12		・第 5 回編集委員会	
1	・事業計画策定家電 WG		
2	・第 2 回運営委員会	・第 6 回編集委員会	
3	・臨時社員総会(平成 31 年度事業 計画他・書面表決)		

\*やむを得ず役員が任期中に交替する必要がある場合は、臨時総会を開催し選任する。

\*業務運営の円滑・効果的な推進や組織強化を図るため、状況に応じて、上記以外の時期にも会議等を開催する。

### 3. 平成 30 年度事業収支予算

(1) 平成 30 年度の正味財産増減計算書(案)は次の通り。

(単位：千円／千円未満切り捨て)

科 目	区 分	H30 予算 (A)	H29 予算 (B)	差 額 (A-B)
① 基本財産運用益		0	1	△1
② 受取会費		4,180	4,200	△20
③ 事業収益		47,442	47,178	264
④ 雑収益		1	7	△6
経常収益計		51,624	51,386	238
① 事業費		45,953	46,765	△812
② 管理費		5,649	4,540	1,109
経常費用計		51,602	51,305	297
当期経常増減額		21	80	△59
当期一般正味財産増減額		21	80	△59
前期末正味財産額		51,565	48,669	2,897
期末正味財産額		51,586	48,749	2,837

以 上